

第27回「4・9反核燃の日」集会

確信と怒りを込めて全力で進める

原発の再稼働は許さない

(青森地連)

2012年4月7日 青森市の青い森公園で開かれた。

第27回「4・9反核燃の日」全国集会が7日、青森市の青い森公園で開かれ、全国から集まった参加者1150人（主催者発表）が、県内の原子力関連施設の稼働・建設中止と全面撤回に向け、団結して活動することを改めて誓った。

三上武志県反核実行委員長はあいさつで「反核燃、反原発の闘いは、確信と怒りを込めて全力で進めていく」と力強く決意を述べた。

原水禁国民会議の藤本泰成事務局長は、関西電力大飯原発の再稼働に触れ「政府は電力不足や経済性を理由に再稼働を進めようとしている。うそで固めるやり方にだまされてはいけない」と訴えた。

真冬に逆戻りしたような寒さと小雪が舞う中、全国の仲間と共に参加した青森地連、秋田地連、岩手地本の組合員も青森県平和推進労働組合会議の江良實議長（青森地連書記長）とともにガンバロウ三唱で氣勢を上げ、市中心街を「原発はいらない」「再稼働はゆるさない」などとシュプレヒコールを繰り返し元気にデモ行進を行った。

